

定期検査中の 3 号機における原子炉建屋内の水漏れについて

<概要>

(事象の発生状況)

- ・ 定期検査で停止中の 3 号機において、原子炉を設置している建物の 1 階の原子炉格納容器人員用扉入口廻りで床面に水が溜まっていることを協力企業社員が発見しました。
- ・ 漏れた水の量は約 25 リットル、放射エネルギーは約 9.1×10^5 ベクレルでした。

(今後の対応)

- ・ 原因について調査するとともに、再発防止対策について検討してまいります。

(安全性、外部への影響)

- ・ 本事象による外部への放射能の影響はありません。

(公表区分)

- ・ 本事象は公表区分Ⅲ（信頼性向上のために公表する事象）としてお知らせするものです。

詳細は以下のとおりです。

1. 事象の発生状況

平成 22 年 8 月 24 日午前 11 時 36 分頃、定期検査で停止中の 3 号機（沸騰水型、定格出力 78 万 4 千キロワット）原子炉建屋 1 階（管理区域^{*1}）の原子炉格納容器人員用扉^{*2}入口廻りで床面に水が溜まっていることを協力企業社員が発見しました。

当社社員が現場を確認したところ、残留熱除去系^{*3}の系統内への水張り作業中に、当該系統のテスト弁（V-78B、79B）に接続した水抜き用の仮設ホースの排水先ファンネル^{*4}から水があふれていることを確認しました。

ただちに当該系統のテスト弁（V-78B、79B）を閉めたところ、水の漏えいは停止しました。

あふれた水は、管理区域内にとどまっており、漏えい量は約 25 リットル、放射エネルギー^{*5}は約 9.1×10^5 ベクレルで、拭き取りによる清掃を実施しました。

2. 今後の対応

今後、原因について調査するとともに、再発防止対策について検討してまいります。

3. 安全性、外部への影響

本事象による外部への放射能の影響はありません。

*** 1 管理区域**

放射線による無用な被ばくを防止するため、また、放射性物質による放射能汚染の拡大防止をはかるため管理を必要とする区域。

*** 2 原子炉格納容器人員用扉**

プラント停止中に原子炉格納容器へ人が出入りを行う扉。

*** 3 残留熱除去系**

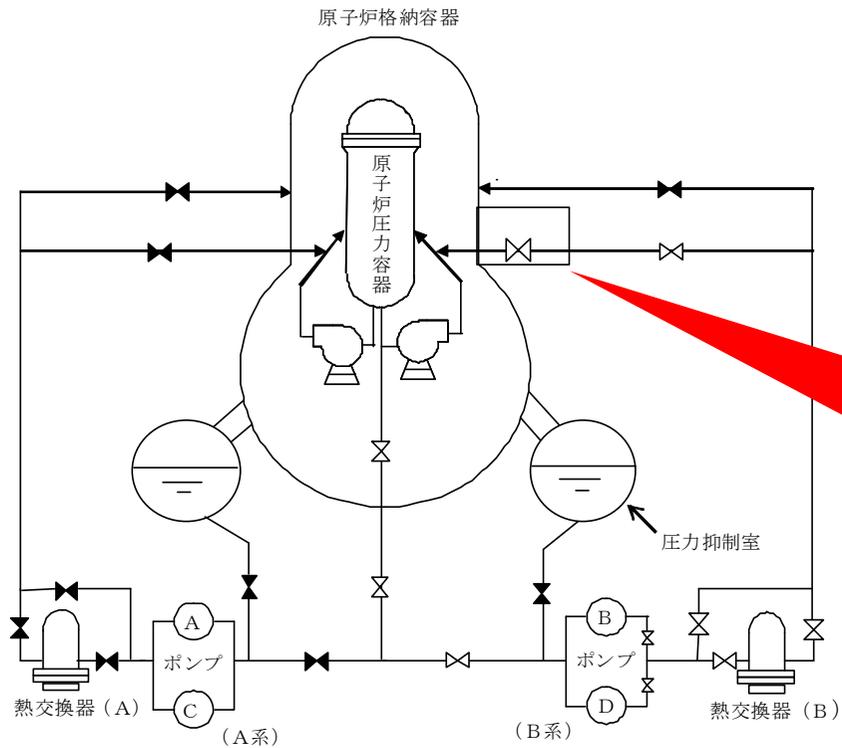
原子炉を停止した後の燃料の崩壊熱除去（燃料の冷却）や非常時に原子炉水位を維持するための系統。

*** 4 ファンネル**

各建屋の配管や機器からの排水を受けるタンクに導く際に中間で水を受ける、いわゆる中間枡のようなもの。

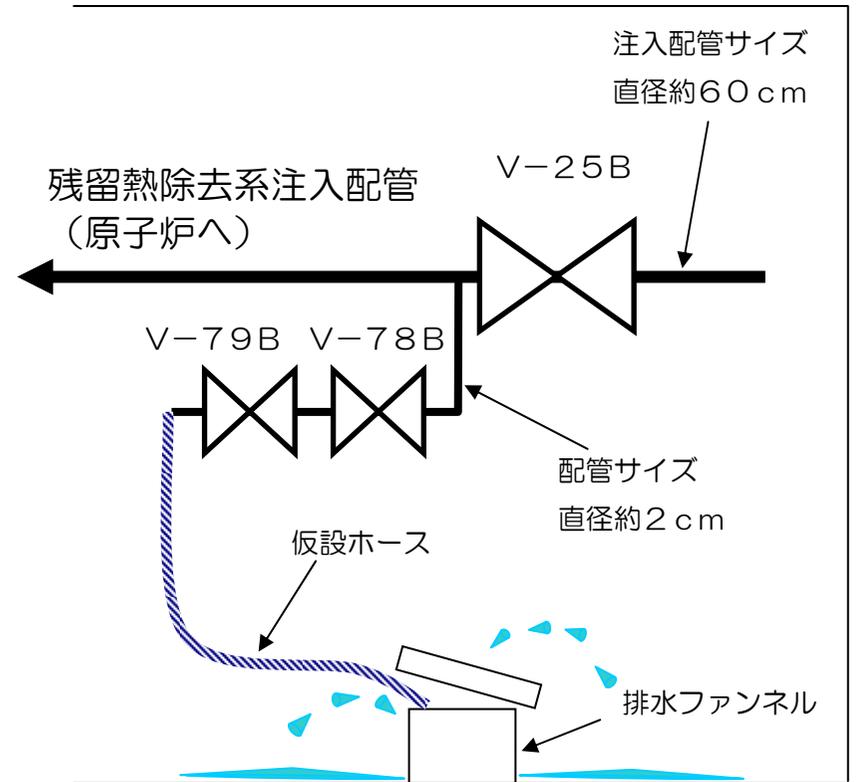
*** 5 放射能量**

漏えいの拡大を防止するための堰を超える漏えい事象の場合、法令による報告対象として、放射能量については 3.7×10^6 ベクレルが目安とされています。



残留熱除去系系統図

3号機残留熱除去系 系統概略図



水漏れ状況図